

特集

― 漁業経営体数、漁業就業者数及び漁船隻数いずれも減少 ― 2023年漁業センサス調査結果

- 漁業経営体数は1,714経営体で、5年前に比べ486経営体(22.1%)減少
- 漁業就業者数は3,753人で、5年前に比べ1,061人(22.0%)減少
- 漁船隻数は2,261隻で、5年前に比べ818隻(26.6%)減少

企画部統計活用課

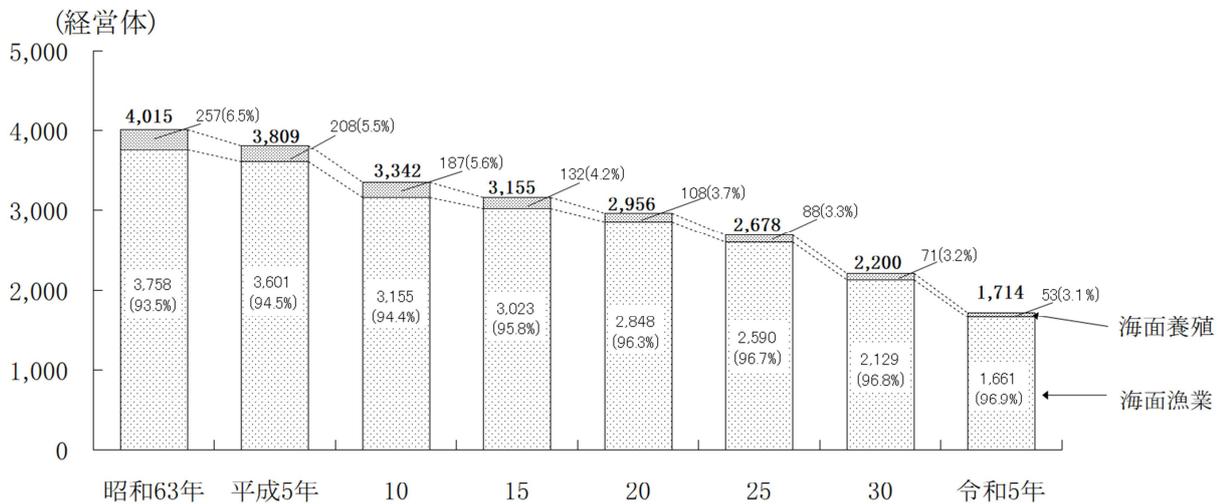
漁業センサスは、我が国漁業の生産構造、就業構造並びに漁村及び水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を把握し、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的とした調査であり、昭和24年から5年ごとに調査を行い、今回で15回目となりました。

このたび、令和5年11月1日現在で実施した「2023年漁業センサス」について、農林水産省が集計した結果に基づき、静岡県分の結果をとりまとめました。

1 漁業経営体

令和5年11月1日現在における本県の海面漁業の漁業経営体数は1,714経営体で、前回(平成30年調査。以下同じ。)に比べ486経営体(22.1%)減少した。

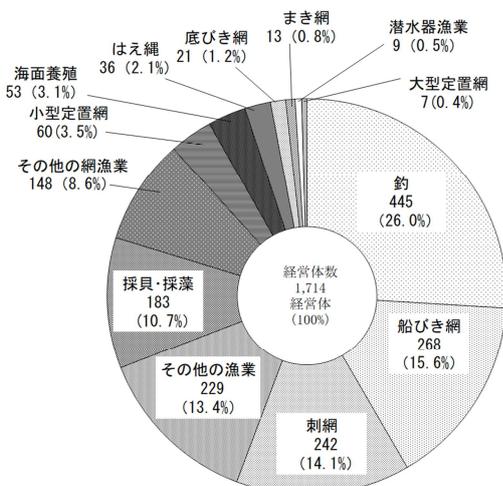
図1 漁業経営体の推移



(1) 漁業種類別経営体数

販売金額1位の漁業種類別に経営体数をみると、釣が445経営体(全漁業経営体数に占める割合26.0%)と最も多く、次いで船びき網268経営体(同15.6%)、刺網242経営体(同14.1%)、その他の漁業229経営体(同13.4%)、採貝・採藻183経営体(同10.7%)の順となり、この5種で全体の79.8%を占めている。

図2 漁業種類別経営体数(構成比)



<代表的なもの>

- ・釣 …立縄釣(キンメダイ)
- ・船びき網…シラス、サクラエビ
- ・刺網…イセエビ刺網、囲目(かくめ)網(ボラ)
- ・その他の漁業…ウナギ筒、カニカゴ漁
- ・採貝…アサリ

(2) 経営組織別経営体数

経営組織別に経営体数をみると、個人経営体は1,627経営体（全漁業経営体数に占める割合94.9%）で、前回に比べ468経営体（22.3%）減少、団体経営体は87経営体（同5.1%）で、前回に比べ18経営体（17.1%）減少した。（第1表）

第1表 経営組織別経営体数

経営組織	平成25年		30		令和5年		対前回(5/30)	
	経営体数	構成比(%)	経営体数	構成比(%)	経営体数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
総数	2,678	100.0	2,200	100.0	1,714	100.0	△ 486	△ 22.1
個人経営体	2,558	95.5	2,095	95.2	1,627	94.9	△ 468	△ 22.3
団体経営体	120	4.5	105	4.8	87	5.1	△ 18	△ 17.1
会社	77	2.9	75	3.4	63	3.7	△ 12	△ 16.0
漁業協同組合	5	0.2	4	0.2	5	0.3	1	25.0
漁業生産組合	4	0.1	4	0.2	4	0.2	0	0.0
共同経営	34	1.3	21	1.0	15	0.9	△ 6	△ 28.6
その他	-	-	1	0.0	-	-	△ 1	△ 100.0

(3) 経営体階層別経営体数

経営体階層別に経営体数をみると、沿岸漁業層及び中小漁業層が前回に比べ減少した。（第2表）

（経営体階層とは、漁業経営体が調査期日前1年間に営んだ漁業種類のうち、最も販売金額の多かった漁業種類及び調査期日前1年間に使用した漁船のトン数により決定した区分である。）

ア 沿岸漁業層は1,477経営体（全漁業経営体数に占める割合86.2%）で、前回に比べ445経営体（23.2%）減少した。経営体階層別にみると、漁船非使用階層が236経営体（同13.8%）で、前回に比べ8経営体（3.5%）増加したが、動力漁船を使用する階層では、動力漁船3～5トン未満階層が233経営体（同13.6%）で、前回に比べ89経営体（27.6%）減少、1～3トン未満階層が202経営体（同11.8%）で、前回に比べ117経営体（36.7%）減少した。（第2表）

イ 中小漁業層は227経営体（同13.2%）で、前回に比べ41経営体（15.3%）減少した。経営体階層別にみると、動力漁船10～30トン未満階層が203経営体（同11.8%）で、前回に比べ30経営体（12.9%）減少、30～100トン未満階層が17経営体（同1.0%）で、前回に比べ7経営体（29.2%）減少した。（第2表）

ウ 大規模漁業層は10経営体（同0.6%）で、前回同様となった。（第2表）

第2表 経営体階層別経営体数

区 分	平成25		30		令和5年		対前回(5/30)		
	経営体数	構成比(%)	経営体数	構成比(%)	経営体数	構成比(%)	増減数	増減率(%)	
合 計	2,678	100.0	2,200	100.0	1,714	100.0	△ 486	△ 22.1	
沿岸漁業層	計	2,386	89.1	1,922	87.4	1,477	86.2	△ 445	△ 23.2
	漁 船 非 使 用	265	9.9	228	10.4	236	13.8	8	3.5
	無 動 力 漁 船 の み	6	0.2	2	0.1	7	0.4	5	250.0
	船 外 機 付 漁 船	584	21.8	507	23.0	389	22.7	△ 118	△ 23.3
	動力漁船1トン未満	206	7.7	161	7.3	97	5.7	△ 64	△ 39.8
	動力漁船1～3トン未満	444	16.6	319	14.5	202	11.8	△ 117	△ 36.7
	動力漁船3～5トン未満	415	15.5	322	14.6	233	13.6	△ 89	△ 27.6
	動力漁船5～10トン未満	286	10.7	241	11.0	193	11.3	△ 48	△ 19.9
	定 置 網	92	3.4	71	3.2	67	3.9	△ 4	△ 5.6
海 面 養 殖	88	3.3	71	3.2	53	3.1	△ 18	△ 25.4	
中小漁業層	計	283	10.6	268	12.2	227	13.2	△ 41	△ 15.3
	動力漁船10～30トン未満	238	8.9	233	10.6	203	11.8	△ 30	△ 12.9
	動力漁船30～100トン未満	28	1.0	24	1.1	17	1.0	△ 7	△ 29.2
	動力漁船100～200トン未満	6	0.2	2	0.1	2	0.1	0	0.0
	動力漁船200～500トン未満	7	0.3	3	0.1	1	0.1	△ 2	△ 66.7
大規模漁業層	動力漁船500～1,000トン未満	4	0.1	6	0.3	4	0.2	△ 2	△ 33.3
大規模漁業層	動力漁船1,000トン以上	9	0.3	10	0.5	10	0.6	0	0.0

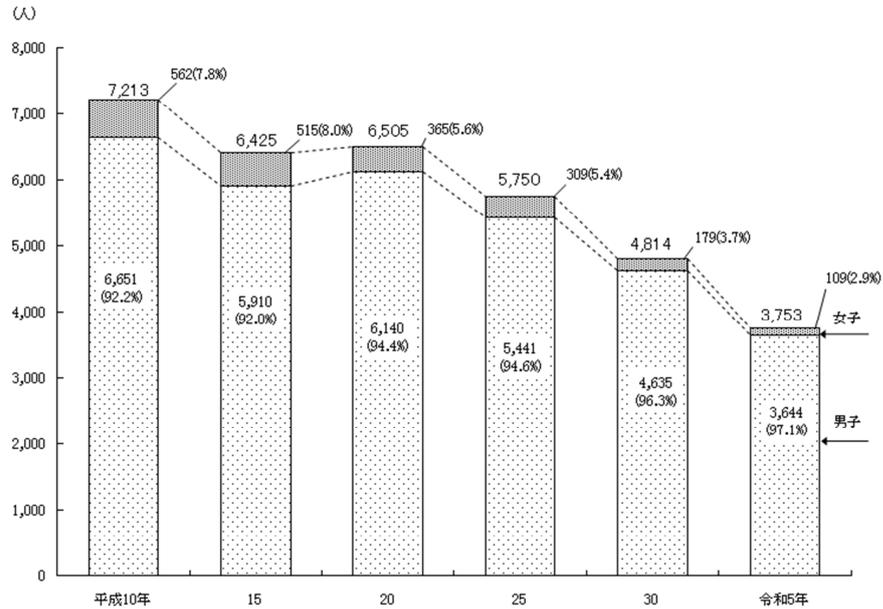
2 漁業就業者

(1) 漁業就業者数

漁業就業者数は3,753人で、前回に比べ1,061人(22.0%)減少した。(図3)

(漁業就業者とは、満15歳以上で調査期日前1年間に自営漁業の海上作業に年間30日以上従事した者をいう。)

図3 漁業就業者数の推移



(2) 性別・年齢別漁業就業者数

漁業就業者数を性別にみると、男性は3,644人(全漁業就業者数に占める割合97.1%)、女性は109人(同2.9%)で、前回に比べそれぞれ21.4%、39.1%減少した。

年齢階層別にみると、全漁業就業者数に占める男性の65歳以上就業者の割合は34.1%で、前回に比べ0.6ポイント増加、女性は1.4%で、前回に比べ0.8ポイント減少した。(第3表)

第3表 性別・年齢区分別漁業就業者数

区分	平成10年	15	20	25	30		令和5年		対前回(5/30)	
	人	人	人	人	人	%	人	%	増減数	増減率
合計	7,213	6,425	6,505	5,750	4,814	100.0	3,753	100.0	△ 1,061	△ 22.0
男	6,651	5,910	6,140	5,441	4,635	96.3	3,644	97.1	△ 991	△ 21.4
女	562	515	365	309	179	3.7	109	2.9	△ 70	△ 39.1
性										
計	2,042	2,217	2,151	1,865	1,614	33.5	1,281	34.1	△ 333	△ 20.6
65歳以上計	1,129	969	791	611	577	12.0	399	10.6	△ 178	△ 30.8
65～69歳	634	823	808	600	488	10.1	426	11.4	△ 62	△ 12.7
70～74歳	279	425	552	654	549	11.4	456	12.2	△ 93	△ 16.9
75歳以上										
計	219	272	213	185	107	2.2	54	1.4	△ 53	△ 49.5
65～69歳	128	112	78	43	32	0.7	13	0.3	△ 19	△ 59.4
70～74歳	73	107	81	70	29	0.6	16	0.4	△ 13	△ 44.8
75歳以上	18	53	54	72	46	1.0	25	0.7	△ 21	△ 45.7

